

平成 29 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ  
語学・大学留学コース 8 月レポート  
「異国の地で生活すること」

皆様こんにちは。埼玉県・オハイオ州スカラシップ「語学・大学留学コース」平成 29 年度派遣奨学生の小口智美（こぐち ともみ）と申します。私は 1 年間フィンドレー大学で TESOL（英語を母語としない人々への英語教授法）を専攻しています。アメリカの大学で勉強するという素晴らしい機会を頂いたことに感謝いたします。

アメリカの大学で過ごす 1 年間で語学を磨きアメリカの文化や慣習を学ぶことはもちろん、日本や埼玉県のことをフィンドレーの方々に発信していきたいと思っています。1 か月に一度、アメリカの様子を紹介したレポートを掲載します。今回は第 1 回目となる 8 月のレポートをお届けいたします。

8 月 15 日に成田空港を出発し、アメリカに来てから 2 週間が経ちました。毎日出会うものがすべて目新しく、日本とアメリカの文化の違いに気が付くことが楽しいです。今回のレポートでは、買い物の様子、大学のオリエンテーションの様子をお伝えします。

### 買い物

日用品を買うため、アメリカに到着した日に大学の近くにあるスーパーマーケットに行きました。ウォルマートという大きなスーパーマーケットです。初めて行ったときは敷地面積の大きさと食べ物大きさに驚きました。想像はしていましたが、予想以上の大きさです。例えば、牛乳はペットボトルのようなものに入っていてガロンという単位で売られています。1 ガロンは 3. 98 リットルです。1/2 ガロンの牛乳も売られていますが、それでも 2 リットル近く量があります。このようにひとつひとつの商品が大きいため、多くの人は車でスーパーマーケットを訪れます。そのため、大きな駐車場があります。また、敷地が広すぎるため、どこに何があるのかを探すことも一苦勞です。言葉も分からないため柔軟剤を探すのにとても時間がかかりました。



1 ガロンの牛乳

## オリエンテーション

大学に来てからの初めの1週間はオリエンテーションがあり、大学の施設を知り、新入生同士が仲良くなれるイベントが多くありました。今回はその中で「アーチセレモニー」と「UF ブロック・パーティー」について紹介をします。「アーチセレモニー」は新入生がフィンドレー大学の学生になるために大学のアーチをくぐり大学に入る儀式です。入学の時にそのゲートをくぐり大学に入り、卒業の時にそのゲートから大学を出るといいう儀式が行われています。在学中に誤ってそのゲートをくぐってしまうと卒業できないというジンクスがあります。



新入生はこの門をくぐって大学に入ります

「UF ブロック・パーティー」では大学の体育館に小さな遊園地のようなものができてみんなでダンスをしたり、アトラクションを楽しんだりすることができます。UFはUniversity of Findlay（フィンドレー大学）の略称です。イベントが行われるときなどはよくUFという略称が用いられます。ブロック・パーティーでは大きなトランポリンや滑り台など5つほどのアトラクションがありました。

列に並んでるときや一緒にダンスをしているときに友達になった人も多くいます。うまく英語を話すことができなくても話してみることが大切だと感じました。言葉が分からないときは絵や写真、動画を使いながら会話をしています。



友達と楽しんだロデオ